

# 第1章 区別の人口の推移

## 1. 区別の人口の推移

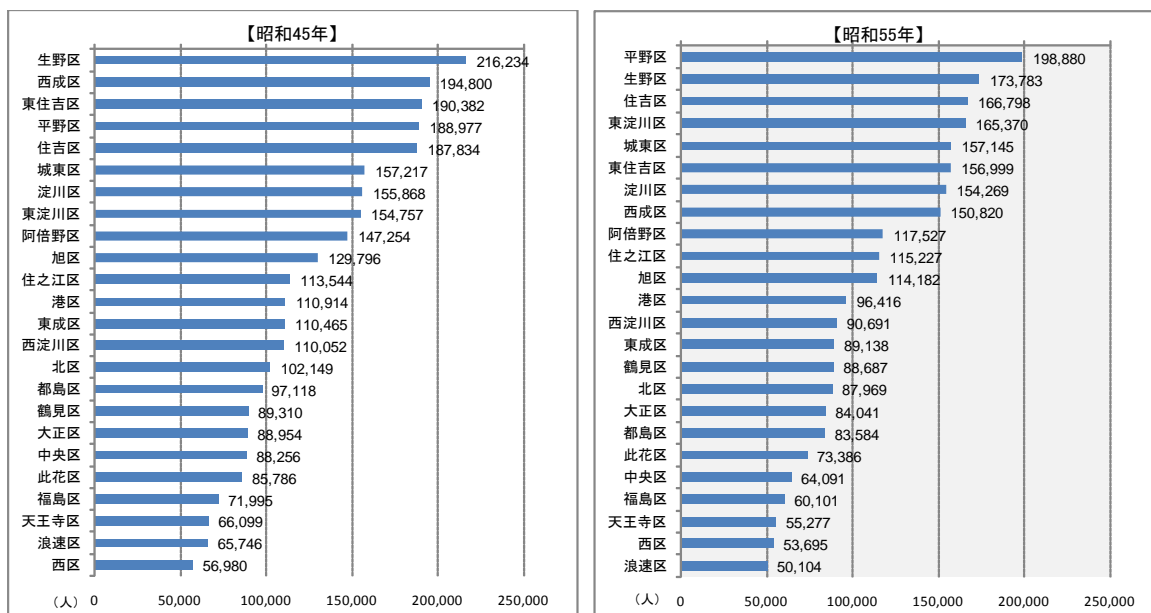
### (1) 人口

国勢調査により、区別の人口を昭和45年からの推移をみると、昭和45年には生野区が21万6234人と最も人口規模の大きい区であったが、その後生野区の人口は減少が続き、平成22年には人口規模が6番目に大きい区となっている。その生野区に代わって、昭和50年に最も人口規模が大きい区となったのは平野区で、平成22年においても最も人口規模が大きい区となっている。

反対に、昭和45年に最も人口規模が小さかったのは西区であるが、その後増加が続き、平成22年には人口規模が17番目に大きい区となっている。その西区に代わって昭和55年に最も人口規模が小さくなった区は浪速区で、平成22年でも最も人口規模が少ない区であるが、人口は増加に転じている。

また、淀川区や東淀川区は昭和45年から15万人以上の人口規模を有しており、それぞれ人口規模は7番目、8番目に大きかった。両区はその後増加傾向であったが、昭和45年時点で両区より人口が多かった西成区、東住吉区、生野区などの人口減少が続いたこともあり、平成22年には東淀川区が2番目、淀川区が3番目に人口規模が大きい区となっている。

図表2-1-1-1 各区の人口  
(昭和45年、昭和55年、平成2年、平成12年、平成22年)



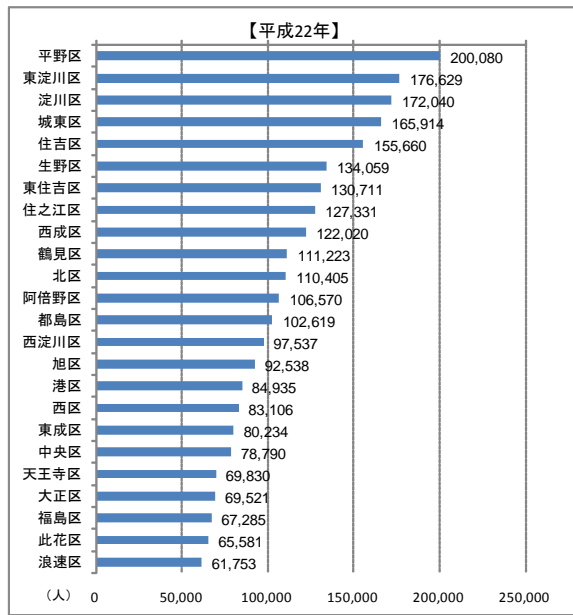
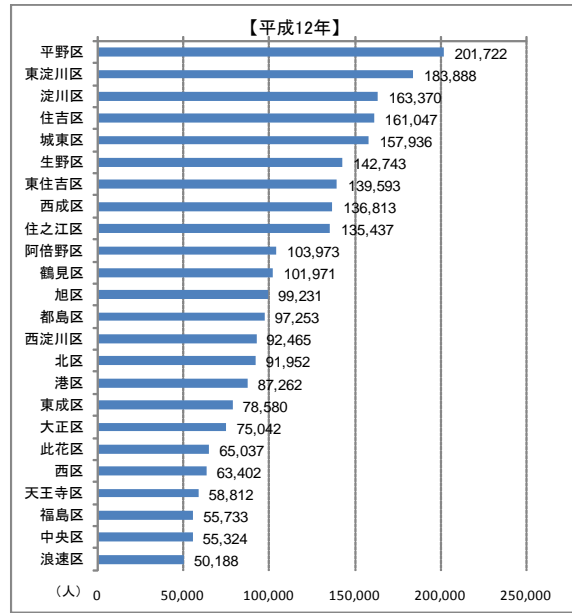
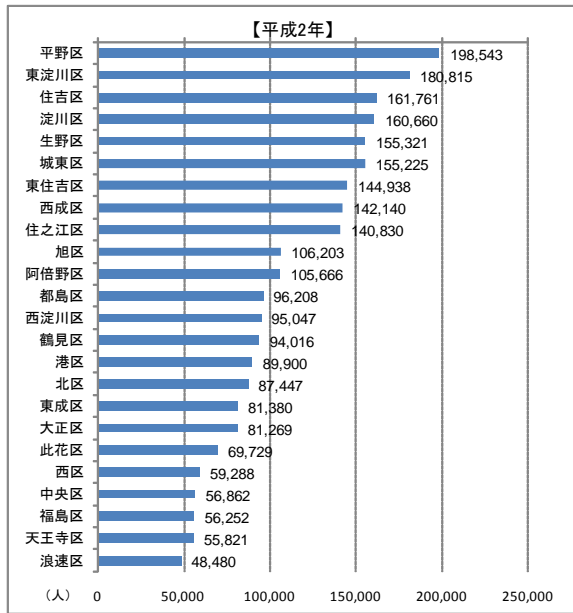
単位：人

資料：国勢調査

※上記の人口は、現在の区域で再集計した数値である。

図表 2-1-1-1 各区の人口（続）

（昭和 45 年、昭和 55 年、平成 2 年、平成 12 年、平成 22 年）



資料：国勢調査

※平成 22 年は速報値

単位：人

※上記の人口は、現在の区域で再集計した数値である。

図表 2-1-1-2 各区の人口の推移

単位：人

	S25	S30	S35	S40	S45	S50	S55
北 区	109,905	137,553	146,092	130,019	102,149	86,425	87,969
都 島 区	50,196	82,765	109,446	110,164	97,118	86,608	83,584
福 島 区	79,475	90,684	94,417	86,021	71,995	61,100	60,101
此 花 区	43,878	65,267	82,765	88,792	85,786	81,963	73,386
中 央 区	90,689	124,629	133,220	114,077	88,256	70,891	64,091
西 区	44,545	63,896	73,480	67,505	56,980	50,078	53,695
港 区	41,508	71,692	99,053	116,497	110,914	105,777	96,416
大 正 区	59,784	78,012	93,377	95,509	88,954	88,488	84,041
天 王 寺 区	50,970	71,549	79,405	75,006	66,099	59,561	55,277
浪 速 区	43,505	70,827	83,063	77,867	65,746	55,725	50,104
西 淀 川 区	76,519	93,953	116,728	121,246	110,052	96,586	90,691
淀 川 区	100,571	122,572	165,659	172,767	155,868	150,754	154,269
東 淀 川 区	62,554	86,190	118,210	141,339	154,757	162,242	165,370
東 成 区	116,129	132,430	138,635	128,403	110,465	95,600	89,138
生 野 区	176,200	223,180	237,237	235,172	216,234	194,552	173,783
旭 区	99,121	125,053	143,038	141,237	129,796	123,853	114,182
城 東 区	107,829	137,833	169,853	171,527	157,217	154,405	157,145
鶴 見 区	24,794	30,466	48,034	80,335	89,310	90,479	88,687
阿 倍 野 区	133,253	152,141	163,414	157,918	147,254	129,047	117,527
住 之 江 区	70,157	82,525	103,346	116,514	113,544	106,540	115,227
住 吉 区	73,348	100,135	137,524	177,078	187,834	182,059	166,798
東 住 吉 区	135,603	150,724	170,626	191,185	190,382	173,846	156,999
平 野 区	59,128	64,588	90,289	147,225	188,977	202,645	198,880
西 成 区	151,509	188,652	214,652	212,819	194,800	169,763	150,820

	S60	H2	H7	H12	H17	H22
北 区	91,285	87,447	85,487	91,952	100,385	110,405
都 島 区	91,925	96,208	98,045	97,253	99,831	102,619
福 島 区	57,497	56,252	55,104	55,733	60,959	67,285
此 花 区	68,987	69,729	68,529	65,037	63,809	65,581
中 央 区	62,392	56,862	52,874	55,324	66,818	78,790
西 区	58,157	59,288	58,674	63,402	72,591	83,106
港 区	92,033	89,900	89,527	87,262	83,191	84,935
大 正 区	82,330	81,269	78,372	75,042	73,207	69,521
天 王 寺 区	55,939	55,821	55,611	58,812	64,137	69,830
浪 速 区	49,074	48,480	49,122	50,188	54,174	61,753
西 淀 川 区	92,411	95,047	91,134	92,465	95,662	97,537
淀 川 区	159,981	160,660	162,022	163,370	169,222	172,040
東 淀 川 区	170,831	180,815	185,931	183,888	178,343	176,629
東 成 区	83,897	81,380	78,736	78,580	78,929	80,234
生 野 区	162,058	155,321	149,271	142,743	138,564	134,059
旭 区	110,147	106,203	102,500	99,231	95,204	92,538
城 東 区	157,466	155,225	155,597	157,936	160,925	165,914
鶴 見 区	89,336	94,016	97,843	101,971	107,419	111,223
阿 倍 野 区	112,434	105,666	102,753	103,973	107,354	106,570
住 之 江 区	135,923	140,830	138,944	135,437	130,627	127,331
住 吉 区	162,352	161,761	162,493	161,047	158,999	155,660
東 住 吉 区	149,331	144,938	141,447	139,593	135,016	130,711
平 野 区	196,203	198,543	200,556	201,722	200,678	200,080
西 成 区	144,260	142,140	141,849	136,813	132,767	122,020

資料：国勢調査 ※平成 22 年は速報値

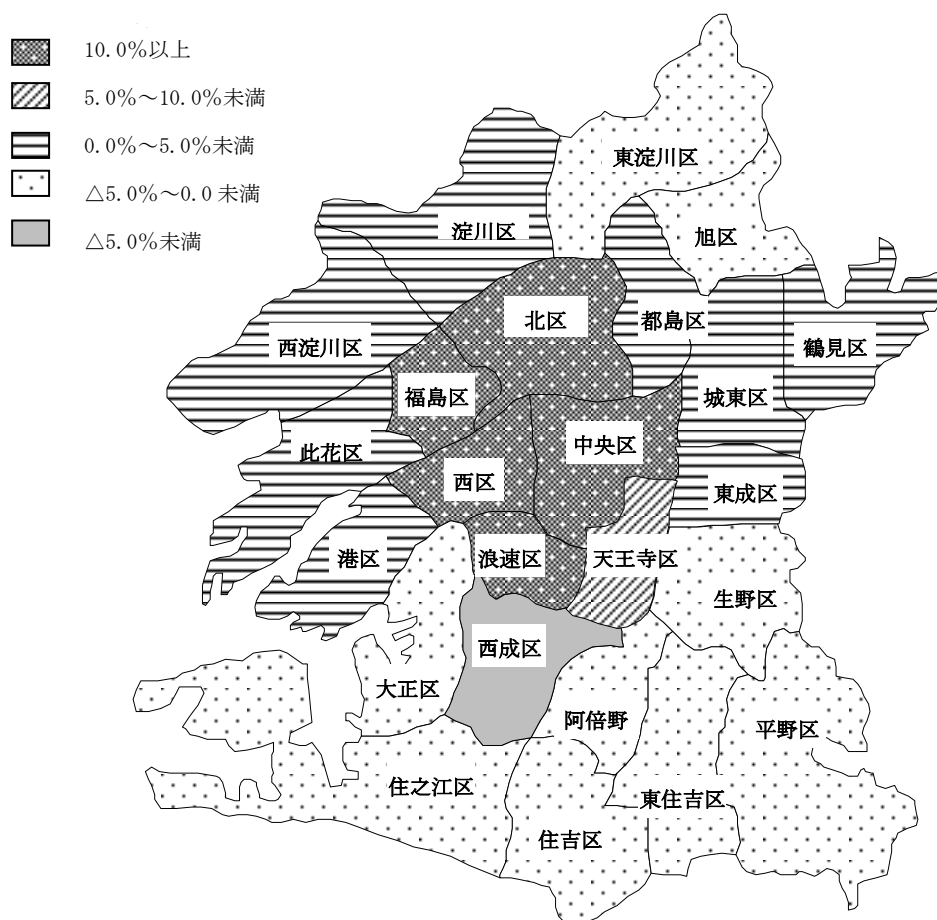
※上記の人口は、現在の区域で再集計した数値である。

(2) 平成 17 年から平成 22 年の区別の人口増減率

大阪市内各区における平成 17 年から平成 22 年までの人口増減率をみると、人口増加率の高い区は、中央区 17.9%増、西区 14.5%増、浪速区 14.0%増、福島区 10.4%増、北区 10.0%増などであり、10%以上の増加をしている。

一方、人口減少率が高い区は、西成区 8.1%減、大正区 5.0%減、生野区 3.3%減、東住吉区 3.2%減、旭区 2.8%減などとなっている。

図表 2-1-1-3  
各区の人口増減率（平成 17 年～平成 22 年）



資料：国勢調査 ※平成 22 年は速報値

図表 2-1-1-4 各区の対前回調査からの人口増減率

単位：%

	S30	S35	S40	S45	S50	S55
北 区	25.2	6.2	△ 11.0	△ 21.4	△ 15.4	1.8
都 島 区	64.9	32.2	0.7	△ 11.8	△ 10.8	△ 3.5
福 島 区	14.1	4.1	△ 8.9	△ 16.3	△ 15.1	△ 1.6
此 花 区	48.7	26.8	7.3	△ 3.4	△ 4.5	△ 10.5
中 央 区	37.4	6.9	△ 14.4	△ 22.6	△ 19.7	△ 9.6
西 区	43.4	15.0	△ 8.1	△ 15.6	△ 12.1	7.2
港 区	72.7	38.2	17.6	△ 4.8	△ 4.6	△ 8.8
大 正 区	30.5	19.7	2.3	△ 6.9	△ 0.5	△ 5.0
天 王 寺 区	40.4	11.0	△ 5.5	△ 11.9	△ 9.9	△ 7.2
浪 速 区	62.8	17.3	△ 6.3	△ 15.6	△ 15.2	△ 10.1
西 淀 川 区	22.8	24.2	3.9	△ 9.2	△ 12.2	△ 6.1
淀 川 区	21.9	35.2	4.3	△ 9.8	△ 3.3	2.3
東 淀 川 区	37.8	37.2	19.6	9.5	4.8	1.9
東 成 区	14.0	4.7	△ 7.4	△ 14.0	△ 13.5	△ 6.8
生 野 区	26.7	6.3	△ 0.9	△ 8.1	△ 10.0	△ 10.7
旭 区	26.2	14.4	△ 1.3	△ 8.1	△ 4.6	△ 7.8
城 東 区	27.8	23.2	1.0	△ 8.3	△ 1.8	1.8
鶴 見 区	22.9	57.7	67.2	11.2	1.3	△ 2.0
阿 倍 野 区	14.2	7.4	△ 3.4	△ 6.8	△ 12.4	△ 8.9
住 之 江 区	17.6	25.2	12.7	△ 2.5	△ 6.2	8.2
住 吉 区	36.5	37.3	28.8	6.1	△ 3.1	△ 8.4
東 住 吉 区	11.2	13.2	12.0	△ 0.4	△ 8.7	△ 9.7
平 野 区	9.2	39.8	63.1	28.4	7.2	△ 1.9
西 成 区	24.5	13.8	△ 0.9	△ 8.5	△ 12.9	△ 11.2

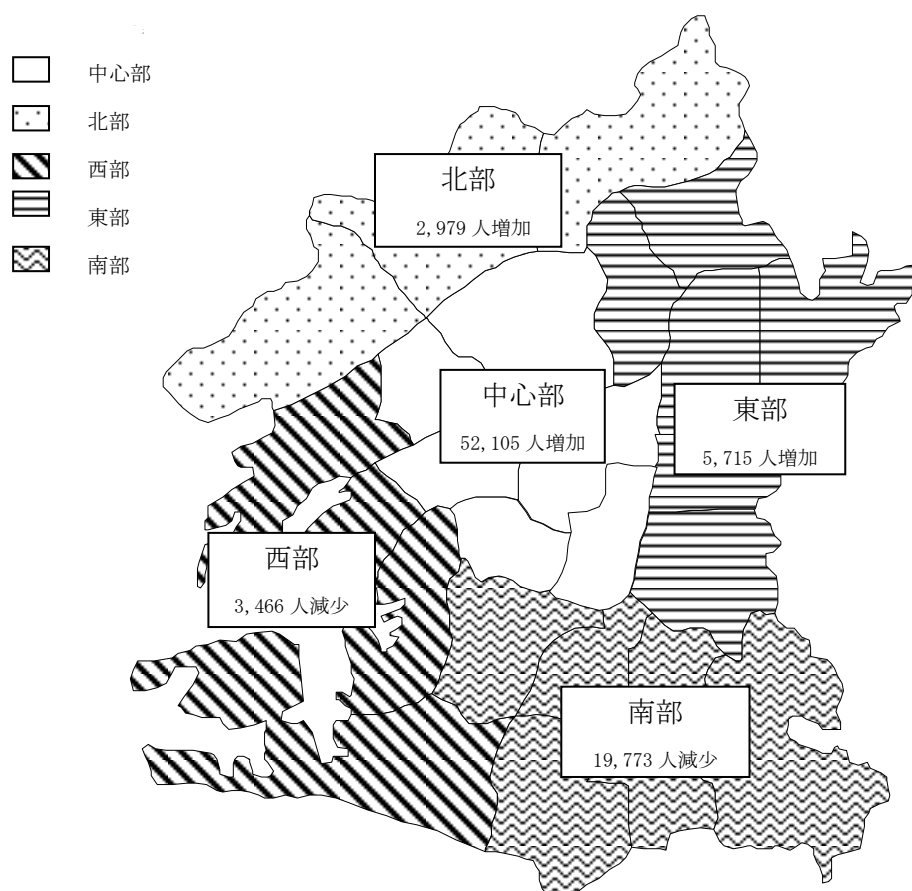
	S60	H2	H7	H12	H17	H22
北 区	3.8	△ 4.2	△ 2.2	7.6	9.2	10.0
都 島 区	10.0	4.7	1.9	△ 0.8	2.7	2.8
福 島 区	△ 4.3	△ 2.2	△ 2.0	1.1	9.4	10.4
此 花 区	△ 6.0	1.1	△ 1.7	△ 5.1	△ 1.9	2.8
中 央 区	△ 2.7	△ 8.9	△ 7.0	4.6	20.8	17.9
西 区	8.3	1.9	△ 1.0	8.1	14.5	14.5
港 区	△ 4.5	△ 2.3	△ 0.4	△ 2.5	△ 4.7	2.1
大 正 区	△ 2.0	△ 1.3	△ 3.6	△ 4.2	△ 2.4	△ 5.0
天 王 寺 区	1.2	△ 0.2	△ 0.4	5.8	9.1	8.9
浪 速 区	△ 2.1	△ 1.2	1.3	2.2	7.9	14.0
西 淀 川 区	1.9	2.9	△ 4.1	1.5	3.5	2.0
淀 川 区	3.7	0.4	0.8	0.8	3.6	1.7
東 淀 川 区	3.3	5.8	2.8	△ 1.1	△ 3.0	△ 1.0
東 成 区	△ 5.9	△ 3.0	△ 3.2	△ 0.2	0.4	1.7
生 野 区	△ 6.7	△ 4.2	△ 3.9	△ 4.4	△ 2.9	△ 3.3
旭 区	△ 3.5	△ 3.6	△ 3.5	△ 3.2	△ 4.1	△ 2.8
城 東 区	0.2	△ 1.4	0.2	1.5	1.9	3.1
鶴 見 区	0.7	5.2	4.1	4.2	5.3	3.5
阿 倍 野 区	△ 4.3	△ 6.0	△ 2.8	1.2	3.3	△ 0.7
住 之 江 区	18.0	3.6	△ 1.3	△ 2.5	△ 3.6	△ 2.5
住 吉 区	△ 2.7	△ 0.4	0.5	△ 0.9	△ 1.3	△ 2.1
東 住 吉 区	△ 4.9	△ 2.9	△ 2.4	△ 1.3	△ 3.3	△ 3.2
平 野 区	△ 1.3	1.2	1.0	0.6	△ 0.5	△ 0.3
西 成 区	△ 4.3	△ 1.5	△ 0.2	△ 3.6	△ 3.0	△ 8.1

資料：国勢調査 ※平成 22 年は速報値

※上記の人口は、現在の区域で再集計した数値である。

図表2-1-1-5

ブロック別(※)の人口増減数(平成17年~平成22年)



資料：国勢調査 ※平成22年は速報値

※ブロックについては、大阪市計画調整局統計調査担当が下記のとおりに分けたものである。

中心部：北区、福島区、中央区、西区、天王寺区、浪速区

東部：都島区、東成区、生野区、旭区、城東区、鶴見区

西部：此花区、港区、大正区、住之江区

南部：阿倍野区、住吉区、東住吉区、平野区、西成区

北部：淀川区、西淀川区、東淀川区

## 【参考】区の区域の推移

(単位: 平方キロメートル)

区名	明治 22 年 4 月 1 日	明治 30 年 4 月 1 日	大正 14 年 4 月 1 日	昭和 7 年 10 月 1 日	昭和 18 年 4 月 1 日	昭和 30 年 4 月 3 日	昭和 49 年 7 月 22 日	平成元年 2 月 13 日	平成 22 年 10 月 1 日
	市制施行	東成・西成両郡の 28 町村編入	東成・西成両郡の 残り編入	大正・旭区設置	全面的行政区画の変更	茨田・巽加美・長吉・瓜破矢田の 6 町村編入	行政区画の変更	北・大淀区を北区東・南区を中央区として合区	
北区	—	—	—	—	—	—	—	10.33	10.33
旧北区	4.47	11.72	8.60	8.81	6.04	5.58	5.54	—	—
旧大淀区	—	—	—	—	4.93	4.47	4.51	—	—
都島区	—	—	—	—	5.86	5.86	5.86	6.05	6.05
福島区	—	—	—	—	4.55	4.68	4.68	4.67	4.67
此花区	—	—	10.00	11.25	10.62	10.43	10.96	15.31	16.41
中央区	—	—	—	—	—	—	—	8.88	8.88
旧東区	4.63	7.09	6.66	6.49	5.83	5.92	5.92	—	—
旧南区	2.31	9.25	2.90	2.73	2.80	2.96	2.96	—	—
西区	3.86	27.61	4.27	4.26	5.00	5.27	5.27	5.20	5.20
港区	—	—	17.59	9.32	7.85	8.26	8.26	7.90	7.90
大正区	—	—	—	9.17	9.17	9.10	9.10	9.13	9.43
天王寺区	—	—	4.27	4.40	4.64	4.67	4.68	4.80	4.80
浪速区	—	—	3.73	3.79	4.24	3.83	3.83	4.37	4.37
西淀川区	—	—	16.94	21.27	14.07	11.16	11.16	14.23	14.23
淀川区	—	—	—	—	—	—	12.71	12.64	12.64
東淀川区	—	—	24.55	29.03	25.93	26.10	13.15	13.26	13.25
東成区	—	—	29.79	10.98	4.65	4.51	4.51	4.55	4.55
生野区	—	—	—	—	5.61	8.10	8.24	8.38	8.38
旭区	—	—	—	18.62	6.45	6.07	6.11	6.30	6.30
城東区	—	—	—	—	11.95	16.58	8.47	8.42	8.42
鶴見区	—	—	—	—	—	—	8.10	8.16	8.16
阿倍野区	—	—	—	—	5.87	5.98	6.06	5.99	5.99
住之江区	—	—	—	—	—	—	14.42	20.06	20.77
住吉区	—	—	34.19	39.94	21.48	19.99	9.16	9.34	9.34
東住吉区	—	—	—	—	12.49	25.37	9.68	9.75	9.75
平野区	—	—	—	—	—	—	15.34	15.30	15.30
西成区	—	—	7.20	7.08	7.41	7.42	7.42	7.35	7.35
大阪市全体	4 区 15.27	4 区 55.67	13 区 181.68	15 区 187.14	22 区 187.44	22 区 202.31	26 区 206.1	24 区 220.37	24 区 222.47

※ 面積は、市域拡張、分増区、公有水面の埋立により変動を生じた年の年末現在で表したものである。

※ 大正 14 年以降は「陸軍参謀本部実測図(2 万分の 1)」を基に算出したもので、各区の面積には、新淀川を含まないため、合計と一致しない。

※ 昭和 30 年以降は国土地理院発表による。

※ 平成元年及び平成 22 年の淀川区の面積は、豊中市との合計値として発表されているため、昭和 62 年の当該区市の面積比で案分した数値を用いた。

※ 資料:「区政概要」

## 2. 区別の人口構造

### (1) 年齢3区分別人口割合

各区における年少人口割合をみると、鶴見区が16.7%と最も高く、平野区15.3%と続く。年少人口割合の高い区は、市南部に比較的集中している。

老年人口割合では、西成区29.1%、旭区23.5%、生野区23.4%、東住吉区23.0%が高くなっており、市南東部に老年人口割合の高い区が比較的集中している。

生産年齢人口割合をみると、中央区が74.1%と最も高く、淀川区70.9%、北区70.5%、東淀川区70.4%、都島区70.2%と続く。市の中心部から北部にかけて、生産年齢人口割合の高い区が比較的多い。

図表2-1-2-1

各区の年少人口割合・生産年齢人口割合・老年人口割合（平成17年）

単位：（%）

順位		15歳未満 人口割合		15～64歳 人口割合		65歳以上 人口割合
1	鶴見区	16.7	中央区	74.1	西成区	29.1
2	平野区	15.3	淀川区	70.9	旭区	23.5
3	西淀川区	13.9	北区	70.5	生野区	23.4
4	住之江区	13.2	東淀川区	70.4	東住吉区	23.0
5	城東区	13.0	都島区	70.2	阿倍野区	22.6
6	住吉区	13.0	天王寺区	69.3	住吉区	21.5
7	此花区	12.8	福島区	68.8	此花区	21.3
8	天王寺区	12.7	浪速区	68.5	東成区	21.2
9	東住吉区	12.6	住之江区	67.9	大正区	20.9
10	大正区	12.5	城東区	66.9	港区	20.7
11	港区	12.4	港区	66.8	平野区	20.1
12	阿倍野区	12.4	西淀川区	66.5	浪速区	19.8
13	東淀川区	12.0	大正区	66.5	城東区	19.4
14	東成区	11.8	鶴見区	65.9	西淀川区	18.8
15	都島区	11.7	此花区	65.4	福島区	18.7
16	生野区	11.4	東成区	65.2	住之江区	18.7
17	旭区	11.4	住吉区	64.9	中央区	18.2
18	福島区	11.3	旭区	64.9	都島区	18.0
19	淀川区	10.9	平野区	64.4	天王寺区	17.8
20	西区	9.2	阿倍野区	64.4	北区	17.6
21	北区	8.7	東住吉区	63.8	淀川区	17.3
22	中央区	7.6	生野区	62.1	東淀川区	17.1
23	西成区	7.5	西区	61.9	鶴見区	16.9
24	浪速区	6.4	西成区	61.6	西区	14.5

資料：国勢調査



## (2) 年齢構成指数

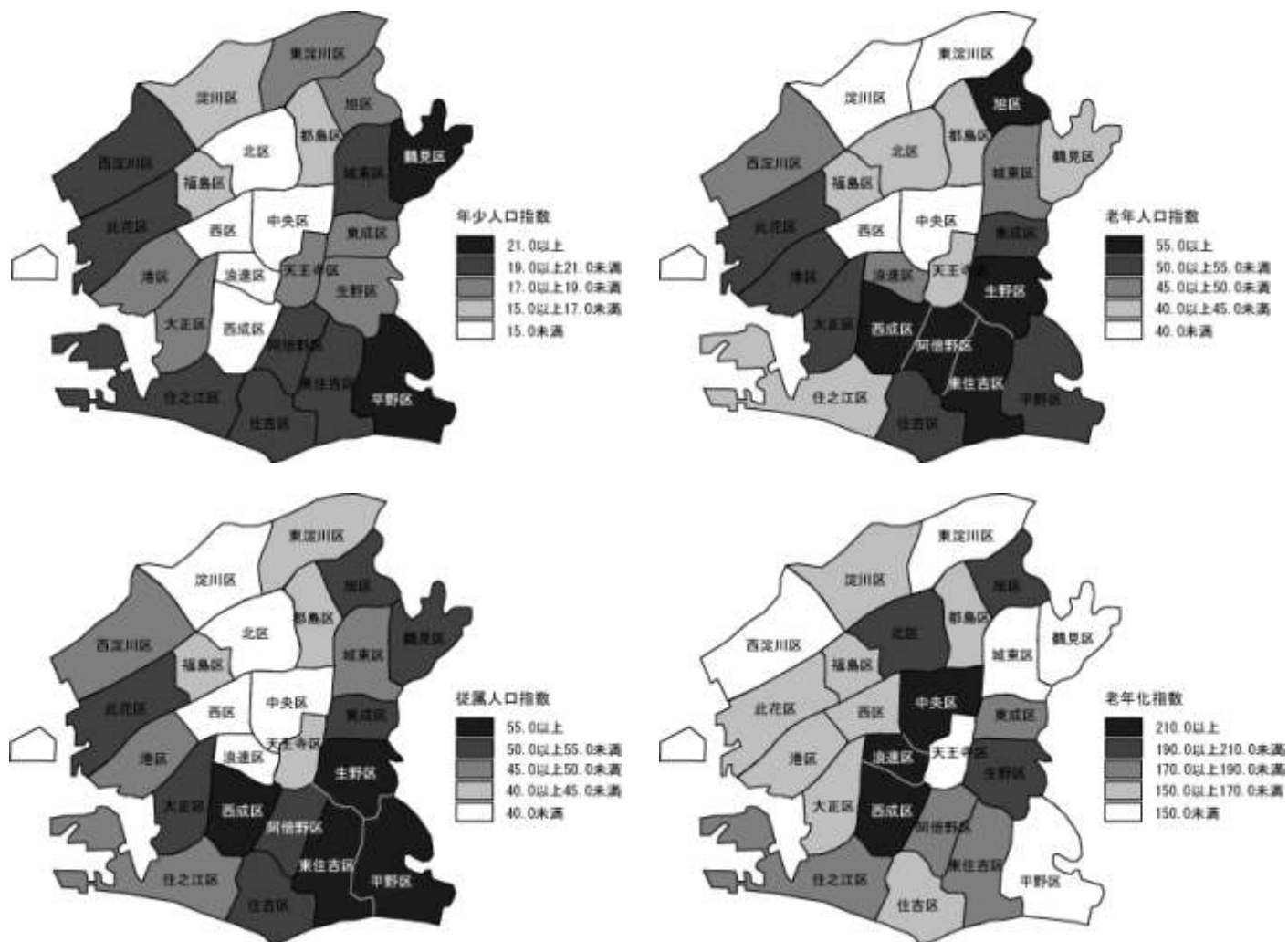
年少人口指数は、市内周縁部が高く、特に指数の高い区は、鶴見区 25.3、平野区 23.8 となっている。年少人口指数の低い区は、市中心部に多く、浪速区 9.3、中央区 10.3、西成区 12.2、北区 12.3 となっている。

老年人口指数は、市南東部に高い区が多く、西成区 47.2、生野区 37.7、旭区 36.2、東住吉区 36.1、阿倍野区 35.1 となっている。逆に老年人口指数の低い区は、西区 23.4、東淀川区 24.3、淀川区 24.4、中央区 24.6 で、市の中心部及び北部に集中している。

従属人口指数では、西成区 59.4、生野区 56.0、東住吉区 55.8、平野区 55.0 と、市南東部が高く、中央区 34.8、北区 37.3、浪速区 38.2、西区 38.3 と市中心部に低い区が集中している。

老年化指数は、西成区 388.0、浪速区 309.4、中央区 239.5 が高く、鶴見区 101.2、平野区 131.4、西淀川区 135.3 などが低い指数となっている。

図表 2-1-2-2 年齢構成指数の各区比較 (平成 17 年)



資料：国勢調査

図表 2-1-2-3 年齢構成指数の各区比較(続) (平成 17 年)

順位		年少人口指数		老年人口指数		従属人口指数		老年化指数
1	鶴見区	25.3	西成区	47.2	西成区	59.4	西成区	388.0
2	平野区	23.8	生野区	37.7	生野区	56.0	浪速区	309.4
3	西淀川区	20.9	旭区	36.2	東住吉区	55.8	中央区	239.5
4	住吉区	20.0	東住吉区	36.1	平野区	55.0	旭区	206.1
5	東住吉区	19.7	阿倍野区	35.1	阿倍野区	54.3	生野区	205.3
6	此花区	19.6	住吉区	33.1	旭区	53.8	北区	202.3
7	住之江区	19.4	此花区	32.6	住吉区	53.2	東住吉区	182.5
8	城東区	19.4	東成区	32.5	此花区	52.1	阿倍野区	182.3
9	阿倍野区	19.3	大正区	31.4	鶴見区	51.0	東成区	179.7
10	大正区	18.8	平野区	31.2	東成区	50.6	大正区	167.2
11	港区	18.6	港区	31.0	大正区	50.2	港区	166.9
12	生野区	18.4	城東区	29.0	港区	49.6	此花区	166.4
13	天王寺区	18.3	浪速区	28.9	西淀川区	49.2	福島区	165.5
14	東成区	18.1	西淀川区	28.3	城東区	48.4	住吉区	165.4
15	旭区	17.6	住之江区	27.5	住之江区	47.0	淀川区	158.7
16	東淀川区	17.0	福島区	27.2	天王寺区	44.0	西区	157.6
17	都島区	16.7	天王寺区	25.7	福島区	43.6	都島区	153.8
18	福島区	16.4	鶴見区	25.6	都島区	42.3	城東区	149.2
19	淀川区	15.4	都島区	25.6	東淀川区	41.3	東淀川区	142.5
20	西区	14.9	北区	25.0	淀川区	39.8	住之江区	141.7
21	北区	12.3	中央区	24.6	西区	38.3	天王寺区	140.2
22	西成区	12.2	淀川区	24.4	浪速区	38.2	西淀川区	135.3
23	中央区	10.3	東淀川区	24.3	北区	37.3	平野区	131.4
24	浪速区	9.3	西区	23.4	中央区	34.8	鶴見区	101.2

資料：国勢調査

※年齢構成指数：人口の構造を知る指標

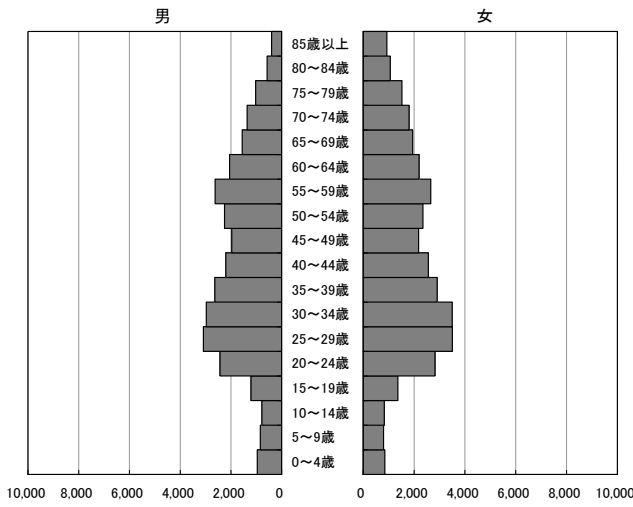
- ・従属人口指数：年少人口（0～14 歳）と老年人口（65 歳以上）の合計の生産年齢人口（15～64 歳）に対する比率
- ・年少人口指数：生産年齢人口に対する年少人口の比率
- ・老年人口指数：生産年齢人口に対する老年人口の比率

### (3) 男女別年齢 5 歳階級別人口

平成 17 年時点の年齢構成指数に特徴のある区を抽出し、男女別年齢 5 歳階級別人口（人口ピラミッド）をみることにし、ここでは「中央区」（「従属人口指数」低・「老年化指数」高）、「淀川区」（「従属人口指数」低・「老年化指数」低）、「西成区」（「従属人口指数」高・「老年化指数」高）、「平野区」（「従属人口指数」高・「老年化指数」低）の 4 区を抽出することとする。

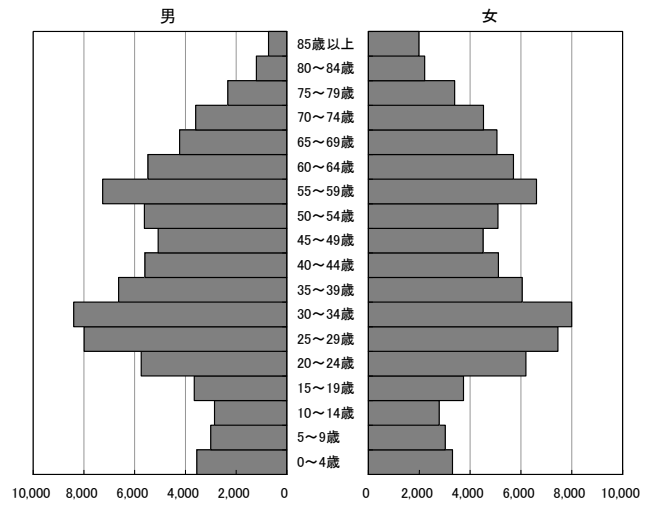
4 区とも 25 歳～34 歳付近と 55 歳～59 歳付近に山があるが、西成区が特に特徴的であり、「男」の 55 歳～69 歳が突出して多い。「女」に関してもこの付近の年齢の人口が多く、他の 3 区と異なり、25 歳～34 歳付近の人口よりも 55 歳～69 歳付近の人口の方が多くなっている

図表 2-1-2-4 各区の男女別年齢5歳階級別人口（平成17年）



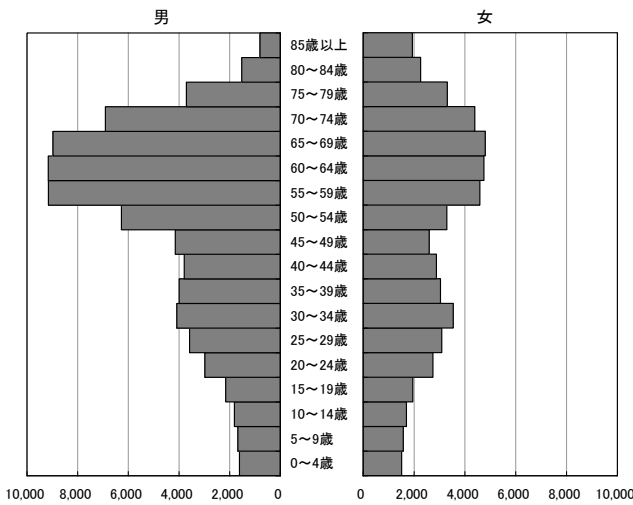
【中央区】

（「従属人口指数」低・「老年化指数」高）



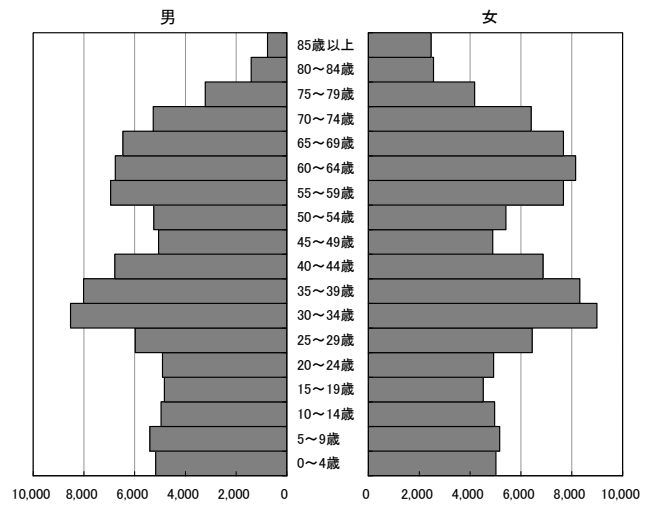
【淀川区】

（「従属人口指数」低・「老年化指数」低）



【西成区】

（「従属人口指数」高・「老年化指数」高）



【平野区】

（「従属人口指数」高・「老年化指数」低）

資料：国勢調査

(4) 将来推計人口（男女別年齢5歳階級別）

ここでは、2005年（平成17年）時点の年齢構成指数に特徴のある区を抽出し、国立社会保障・人口問題研究所における2020年時点の男女別年齢別5歳階級別推計人口をみる。抽出した区は前項と同じく「中央区」、「淀川区」、「西成区」、「平野区」の4区である。

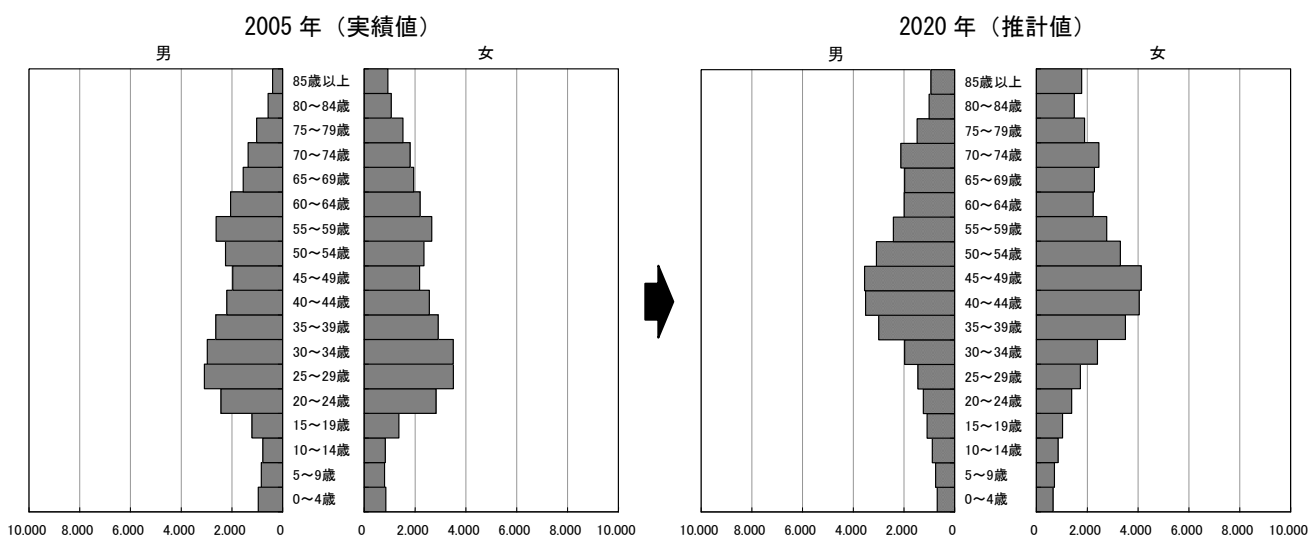
中央区は、2005年では「25～29歳」付近と「55～59歳」付近に山があったが、2020年には「45～49歳」が最も多い人口構成になると推計されている。

淀川区は、2005年では「30～34歳」付近と「55～59歳」付近に山があったが、2020年には「45～49歳」付近が多い人口構成になると推計されている。

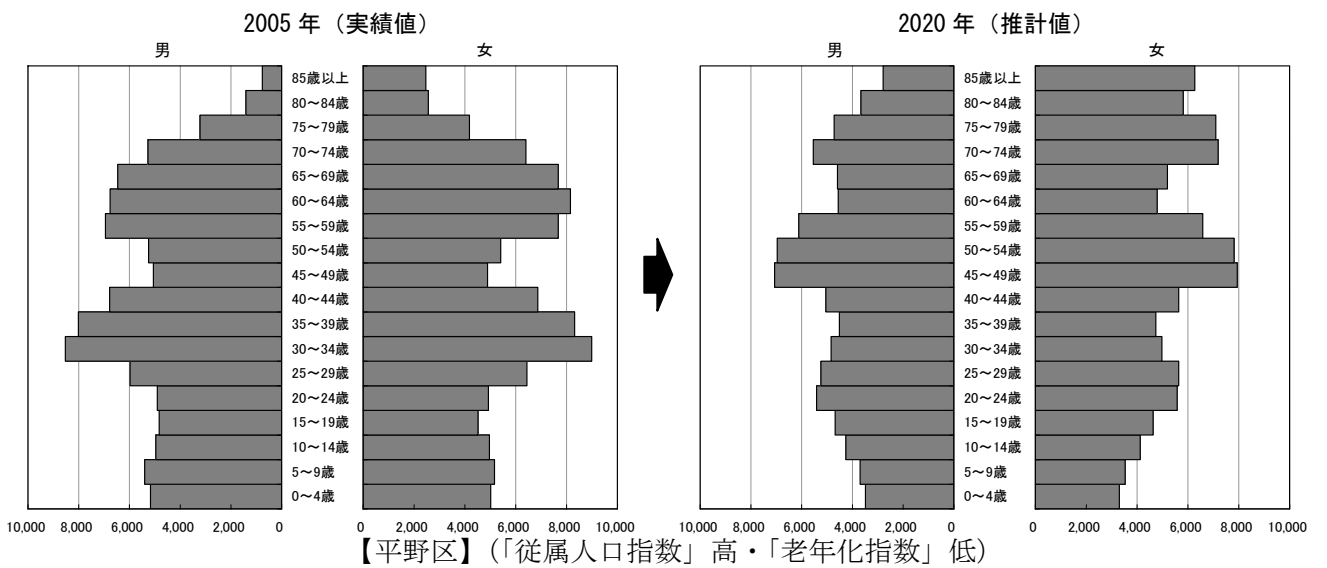
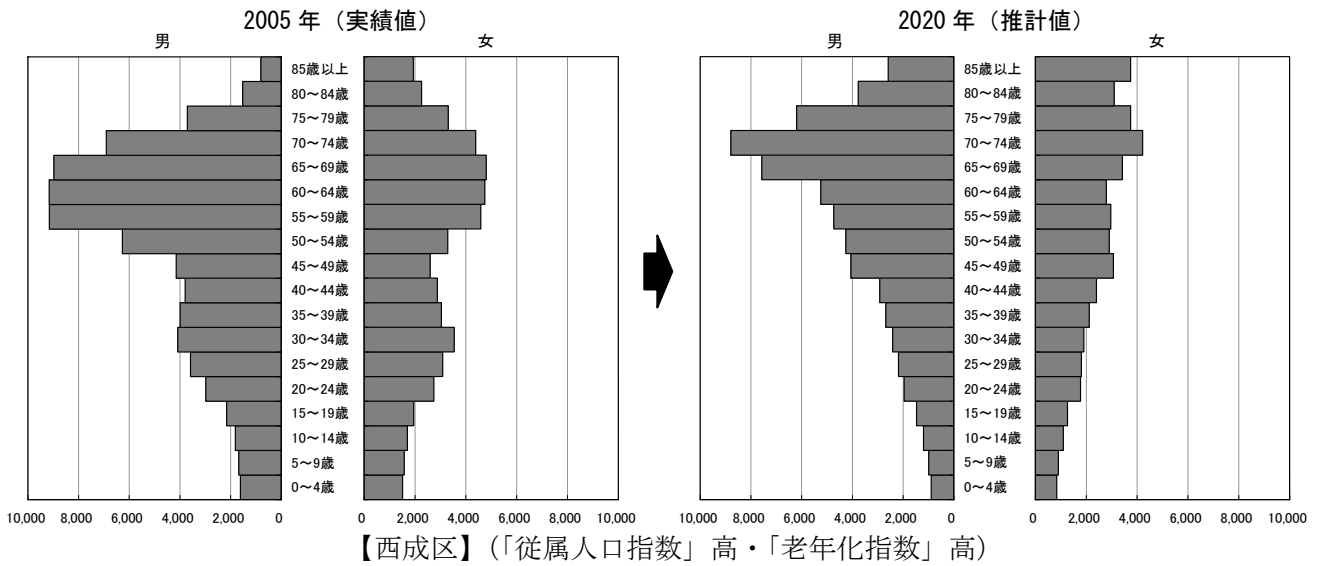
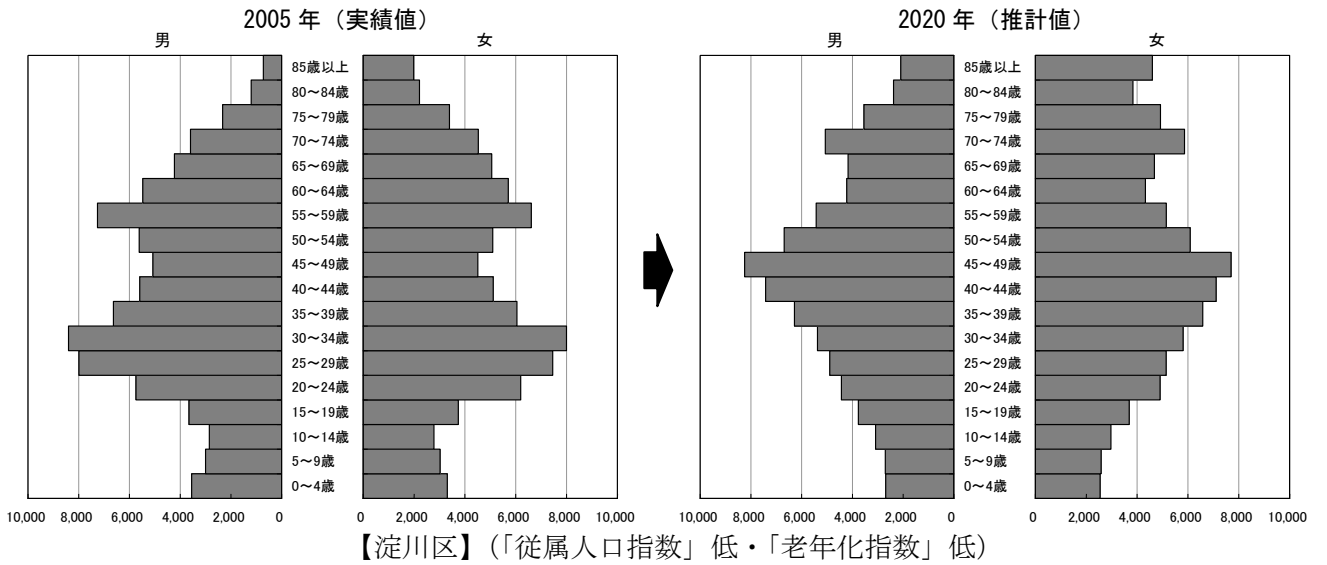
西成区は、市内各区の中でも特徴的な人口構成であるが、2005年では55歳～69歳あたりに山がある。2020年には70歳前後が多くなり、一層の高齢化が進んだ人口構成になると推計されている。

平野区では、2005年では30歳代及び55歳～69歳付近に山があったが、2020年には50歳前後が多い人口構成になると推計されている。高齢者も多い人口構成であるが、2005年時点で「年少人口」が多い構成であったため、20歳前後にも小さな山が表れている。

図表2-1-2-5  
各区の将来推計人口（2020年時点）



【中央区】（「従属人口指数」低・「老年化指数」高）



資料：（実績値）国勢調査  
 （推計値）国立社会保障・人口問題研究所『日本の市区町村別将来推計人口』（平成20年12月推計）